

## WEEKLY REPORT

## SAGA YAMATO ROTARY CLUB

国際ロータリー第2740地区 第1グループ

## 第894回例会

2012～2013 年度国際ロータリーのテーマ



RI 会長

田中作次(埼玉県・八潮 RC)

第2740地区ガバナー

福元裕二(佐賀北 RC)

## プログラム

2012年12月18日(火)

- ① 開会点鐘
- ② 開会の辞
- ③ ロータリーソング  
「それこそロータリー」
- ④ 四つのテスト
- ⑤ 来訪者紹介
- ⑥ 会長のあいさつ
- ⑦ 幹事報告
- ⑧ 委員会報告  
会 食
- ⑨ 外部卓話  
カンボジア教育支援フォーラム佐賀代表  
甲本洋子 様
- ⑩ 出席報告、ニコニコ BOX 報告
- ⑪ 閉会点鐘

MEMO

※次回例会 12月22日(土)

18:30～ 龍登園

創 立 1994/2/22  
 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
 会場 ホテル龍登園 0952-62-3111  
 第4火曜日 18:30～19:30  
 会場 イタリアンレストラン吉野屋

会 長 吉村正則 幹事 眞崎一洋  
 会報委員 古藤俊隆 鶴丸雅啓  
 事 務 局 佐賀市金立町千布 3907  
 TEL・FAX 0952-71-8418  
 E-mail yrc@aqr.bbq.jp

## 会長の時間

吉村会長

先日は巨石パークの除草作業お疲れ様でした。時間が掛かるかと思いましたが、皆さんの鎌さばきの上手さで早く終わることができました。植樹は続けていますが、できればこのような除草作業も続けていきたいと思えます。

16日の選挙もたのしみですが、(私事ですが)議員秘書をしている大学時代の友人と15~16年ぶりに会えるかもしれません。選挙の応援に同行して泊まるかもしれないということです。選挙がきっかけで一緒に飲めるかと、今ワクワクしています。



## 来訪者紹介

林 妙玲 さん (元米山奨学生)

こんにちは、急にお邪魔させて頂きました。日本で仕事が見つかりましたが、東北の地震が続いていること等で、両親が大変心配しています。複雑な気持ちですが、私にとっては家族が一番大切なので、12月15日に帰国することにしました。台湾で7月に公務員試験を受けるので、準備をはじめます。仕事は唐津の吉村商店に決まっていたのですが、辞退することを許していただきました。事情を理解して頂き優しさを感じました。皆様にはまたいつかお会いしたいです。台湾へ来た時はご連絡ください。ご案内します。

## 出席報告

11月28日/メイクアップなし	
25名中11名 (免除2名)	47.82%
12月4日/メイクアップなし	
25名中13名 (免除3名)	59.09%
12月11日/メイクアップなし	
25名中18名 (免除2名)	78.26%

## 会員卓話

堤真敏 君

Rの友の記事で、私は初めて見る「認知症の予防・治療・療養の最前線」が掲載されています。ドクターの投稿ですので予防に関する記事です。私は介護の仕事をしていますが、認知症(今はボケと言わない)になった後の介護をどうしていくかという事が一番大事です。近年は認知症が増えている。私達の若いころはあまり見かけませんでしたし、見かけても軽度の方でした。昔は1/20人だったが、今は1/8人。厚労省の資料では人口が2004年約1億2700万人がピークで今は減少傾向。2055年には約9000万人に減少する。問題は人口の構成。14歳以下の人口が少なく子供より老人が多いということが非常に問題である。

どういう方が認知症になる確立が高いかというところ、①アルツハイマー50% ②脳梗塞脳血栓等30% ③転倒による怪我・入院その他20%。

認知症も早期発見が大事で、10年位かかって進行するので、2~3年ならまだ早いうちで、薬で進行を遅らすことが可能。発見が遅くなれば治らない。現状はどこに連れて行けばよいのか、専門医がわからない。医療の世界の整備が望まれる。

私共の施設は「看取り」をします。もう治らないと判断したときは自然に任せて亡くなって頂くという考えで、尊厳の形を取っています。

生活習慣病になるのを避ける暮らしをして「物忘れ予防」の10か条を1つでも2つでも実行されて元気で認知症にならず、末永くロータリーの活動をして頂ければいいのかなと思いました。

鶴丸雅啓 君

堤さんと重複するところもありますが、認知症患者を持つ家族の立場の体験をお話しします。私が4小年生の頃、同居していた祖母は重度のボケの症状で家族全員に「あんたたち取ったろう！泥棒におうた」と(Rの友にも書いてありますが)「物とられ妄想」がでていました。徘徊もひどく、バットを持って徘徊していたので、母は夜もおちおち眠られなかったと言っていたのを後から聞きました。その後、火事をだして火傷して入院しました。ボケの症状が出ていましたので、病院から家族も寝泊りするよう求められ父母が交代で添い寝での介護をいっており、私は随分寂しい思いをしました。母が当時を振り返り、家族の一大事だったが、皆が協力して家族ばらばらにならなくて良かったと言っていました。新薬や予防策、治療法が早く確立するといいなと思いました。